

令和元年8月20日

横浜市鶴見区長 森 健二 様

横浜市鶴見区地区センター及び横浜市鶴寿荘指定管理者選定委員会  
委員長 峯尾 武巳

横浜市鶴見市場コミュニティハウス及び横浜市鶴見中央コミュニティハウス  
指定管理者選定結果報告書

横浜市鶴見市場コミュニティハウス及び横浜市鶴見中央コミュニティハウスの指定管理者選定にあたり、応募団体から提出された申請書類の審査及び面接審査を行いました。

このたび、審査が終了し、指定管理者の候補者を選定しましたので、選定結果を報告します。

1 横浜市鶴見区地区センター及び横浜市鶴寿荘指定管理者選定委員会

	氏名	団体・役職名
委員長	峯尾 武巳	元 神奈川県立保健福祉大学社会福祉学科教授
委員	大伴 好子	つるみ子育て・個育ちフォーラム運営委員会会長
	烏田 次雄	鶴見区老人クラブ連合会
	坂田 裕子	税理士
	兼子 彰	鶴見区青少年指導員協議会 会長

2 選定経過

日程		実施内容
5月	28日	第1回選定委員会（選定スケジュール・要項等確定）
6月	10日	公募開始
	18日	現地見学会・応募説明会（鶴見中央コミュニティハウス）
	19日	現地見学会・応募説明会（鶴見市場コミュニティハウス）
	26日～1日	質問受付
7月	8日	質問回答
	16日、17日	応募書類受付
8月	20日	第2回選定委員会（指定管理候補者の選定）

(1) 審査の考え方について

第1回選定委員会において、最低基準を合計得点の60%と定めた。

また、選定委員会での採点総得点が最も高い法人を「指定候補者」とし、次に総得点が高い法人を「次点候補者」とする旨を決定しました。

(2) 現地見学会・応募説明会参加団体

ア 鶴見市場コミュニティハウス（2団体）

社会福祉法人 大樹

特定非営利活動法人 ワーカーズコープ

イ 鶴見中央コミュニティハウス（3団体）

特定非営利活動法人 鶴見区民地域活動協会

特定非営利活動法人 ワーカーズコープ

一般社団法人 西区区民利用施設協会

(3) 質問受付（2団体4問）

特定非営利活動法人 鶴見区民地域活動協会  
特定非営利活動法人 ワーカーズコープ

(4) 応募団体

- ア 鶴見市場コミュニティハウス(1団体)  
社会福祉法人 大樹
- イ 鶴見中央コミュニティハウス（2団体）  
特定非営利活動法人 ワーカーズコープ  
特定非営利活動法人 鶴見区民地域活動協会

(5) 応募者の資格について

いずれの団体も欠格事項に該当していないことを確認しました。

(6) 審査結果

※審査項目別の評価結果については別紙のとおり

- ア 鶴見市場コミュニティハウス  
第1位「社会福祉法人 大樹」（750点中548点）
  
- イ 横浜市鶴見中央コミュニティハウス  
第1位「特定非営利活動法人 鶴見区民地域活動協会」（750点中585点）  
第2位「特定非営利活動法人 ワーカーズコープ」（725点中512点）

3 審査講評

(1) 鶴見市場コミュニティハウス

夜間の貸館稼働率が低いという課題については、応募団体も認識しているが、施設の周りが暗く、指定管理候補者だけでは改善が難しい部分がある。地域の会議で使用するなど、地域でも応援していく必要があると感じた。

地域ケアプラザとの合築である強みを今後も活かして行ってほしい。

(2) 鶴見中央コミュニティハウス

次点候補者となった、特定非営利活動法人ワーカーズコープの提案内容には、全国展開している組織としての強みが表れていたが、「地域」という単位に目を向けた事業の具体化が、質疑応答を通じても明らかにならないという点に課題があった。

指定候補者となった、特定非営利活動法人鶴見区民地域活動協会は、現行の指定管理者だが、前回の選定の際に提案した、「図書取次サービス」について、着実に実行している。また、第三者評価で指摘された、子どもの利用促進の課題に対して、できる範囲で改善に取り組んでいることは評価できる。

インターネット予約の導入など新規提案事項についても、期待できる内容になっていた。